

平成22年度 板橋区公文書館講演会

# 東京人が見た 「御一新」と近代社会

Change 江戸 to 東京!

9月17日(金)

「幕末維新の激動を超えて—東京における記録資料の継承と形成—」西木 浩一氏(東京都公文書館)

東京都公文書館所蔵文書の多くは、幕末維新期の激動の中で東京府に引き継がれ、また東京府・東京市の活動の中で新たに形成されてきました。歴史の変動の中でその価値を発揮しつつきた記録資料の形成史をたどりつつ、その中に映し出される当時の人々の姿を見つめてみましょう。

9月18日(土)

「古文書・古写真に見る幕末・明治」石山 秀和氏(江戸東京博物館)

江戸東京博物館に所蔵されている幕末・明治の古文書、古写真を事例に、その資料としての有効性を語りながら当時の江戸・東京の社会状況について描いていきます。

9月19日(日)

「与力が見た都市江戸の変貌」滝口 正哉氏(千代田区立四番町歴史民俗資料館)

元江戸町奉行所与力、原胤昭の語った江戸社会の実像(千代田区所蔵「原胤昭史料」)について取り上げる。明治期の段階で、すでに江戸への懐古的意識を持ち始めた知識人の語る、近代明治の弊害なども同時に見ていきます。

9月20日(月)

「勝海舟が見た明治日本」藤田 英昭氏(明海大学非常勤講師)

江戸っ子にして旧幕臣であった海舟は、明治の日本をどのように見ていたのか。明治の政治家で最も酷評の対象となったのは誰で、その理由は何だったのか?『氷川清話』や『海舟日記』などをもとに、海舟の立場と近代日本のありようを考えます。

- |     |  |     |       |      |         |
|-----|--|-----|-------|------|---------|
| ■時間 | いずれも 14時から16時  | ■対象 | どなたでも | ■ところ | 板橋区公文書館 |
| ■定員 | 各回40人(定員を超えたら抽選)   | ■費用 | 無料    |      |         |
| ■申込 | 9月6日(月)まで、往復はがき・FAX・Eメールで、①講演会申込②住所③氏名④電話⑤希望日(複数日可)を明記のうえ、公文書館へ。 |     |       |      |         |

お問合せ・申込先：〒173-0001 本町 24-1 板橋区公文書館 (月曜休館)

TEL：03-3579-2291 FAX：03-3579-2294 Eメール：kbunsho@city.itabashi.tokyo.jp

## 交通機関

- 電車の場合 都営三田線「板橋本町駅」下車 (徒歩7分)  
A3出口には、エレベーターがあります。  
東武東上線「中板橋駅」下車 (徒歩20分)
- バスの場合 国際興業バス 「大和町」下車 (徒歩7分)  
「上宿」下車 (徒歩7分)

